

アレルギー緊急時対応マニュアル/家庭版：活用をお願い

食物アレルギーの方には有症時に内服する薬を必ず処方し、その使い方をお伝えください。その際の説明にこのマニュアルをご活用ください。
 エピペンを処方しない場合もご活用ください。
 (香川県小児科医会ホームページにPDFが載っています。)

緊急な症状があればエピペンを
 使います。救急
 車要請!

アレルギー緊急時対応マニュアル(家庭版)

① 子どもに異変?

アレルギー症状かもしれない!
 こともから目をはささない!
 ほかの家族をよぶ

まらがって食べた
 のどがつかない
 ことがない

息が苦しい・発疹が赤い
 のどが腫れる・お腹が痛い
 かいがい・ブツブツがでた

基本的対処法

口のイガイガ 口をすすぐ 水を飲む	アレルギーにさわった 手を洗う	目のかゆみは 洗う・冷やす 点眼する	かゆみ・発 赤 じんましん 冷やす・レ スタミンな どをぬる
-------------------------	--------------------	--------------------------	---

緊急受診先病院
 電話番号

かかりつけ病院
 電話番号

あなたのおくすり

種類	1回量	置いてある場所
エピペン	mg	
抗ヒスタミン薬		
ステロイド薬		
気管拡張薬		

安静を保つ体位

ぐったり
意識もうろう
→ **ショック体位**
 寝かす
15~30cm

はきけ・嘔吐
吐物による窒息の危険!
→ **上半身をおこす**
 椅子の背もたれ等に
寄りかかせる

息が苦しい
少しでも呼吸を楽に!
→ **上半身をおこす**
 椅子の背もたれ等に
寄りかかせる

② 緊急性の高い症状(下)はないか

全身症状	呼吸器症状	消化器症状	皮膚症状	意識	
<input type="checkbox"/> ぐったり <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿や便をもらす <input type="checkbox"/> 脈が触れにくい/不規則 <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	<input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる <input type="checkbox"/> 声がかすめる <input type="checkbox"/> 大がほえるような咳 <input type="checkbox"/> 息がしにくい <input type="checkbox"/> 持続する強いせき込み <input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	<input type="checkbox"/> 持続する強いお腹の痛み <input type="checkbox"/> 繰り返して吐き続ける	<input type="checkbox"/> 顔全体ののはれ <input type="checkbox"/> まぶたのはれ <input type="checkbox"/> 強いかゆみ <input type="checkbox"/> 全身に広がるじんましん <input type="checkbox"/> 全身が真っ赤	<input type="checkbox"/> 軽度のお腹の痛み <input type="checkbox"/> 軽度のお腹の痛み(がまんできる) <input type="checkbox"/> 吐き気 <input type="checkbox"/> 軽度のかゆみ <input type="checkbox"/> 数個のじんましん <input type="checkbox"/> 部分的な赤み	<input type="checkbox"/> 1つでもあてはまる場合 緊急対応! 迷うときは使う!

上の症状があれば
 下の対応を

薬があってもなくても
 まずすること

薬名は説明しながら医師が記載
 しましょう

不安ならステロ
 イドも飲んでい
 いでしょ
 薬名記入を

③ エピペンの手順

子どもに声をかけながら、できるだけたくさんの人で対応しましょう

① エピペンを打ちやすい体勢をとる
 ゆっくりあおむけにする
 エピペン使用者は、子どもの脇に座る
 介助者は、子どもをささえて**むかいあわせ**になる
 介助者は、子どもの**足のつけねと膝**をおさえる
 ※もう1人介助者がいれば上半身をおさえる

② エピペンをケースから取り出して
 きき手で「グー握り」する
 オレンジ色を下にして握る
 親指はそえない
 握ったら持ちかえない

③ エピペンを打つ位置を確認
 介助者がおさえている太ももの
前面、中央、外側
 介助者の**両手の中央**★がめやす
 服の上からでもOK
 ポケットの中が空であることを確認

④ エピペンを打つ
 安全キャップ(青色)を上へ引き抜く
 先端(オレンジ色)を目標に軽くあてる
 子どもに声をかける:「エピペンをさすよ!じっとしてね!」
 そのまま垂直に**グッと押しつける**
 「**ん!**」と音がしたら投与完了・そのまますぐ待つ
 ※音がない場合はもう一度グッと押しつける
 エピペンを太ももからゆっくり離し、注射部位を軽くもむ
 オレンジ色のニードルカバーが**伸びている**ことを確認

⑤ その後
 通常 15分以内に楽になる(効果は約15分持続)
 元気がなくても動かない、観察を継続
 使用済みエピペンはケースに入れ病院へ
 10分以内にも「緊急性の高い症状」があれば
 2本目のエピペンを使用(どちらの足でもよい)

1分でエピペンの
 使い方が分かります

④ 救急車の要請 (119番通報)

緊急受診先病院
 も伝える

「アナフィラキシーでの救急要請です」
 自宅の電話番号、住所 ※事前に記入しておく

電話番号

住所

子どもの名前、性別、年齢
 現在の状況、原因わかれば伝える
 エピペンの有無、使用したかしてしていないか
 私(通報者)の名前、携帯電話番号※
 ※その後救急隊とすぐ連絡が取れるようにしておく

ここではステロ
 イドも飲んだほう
 がいいでしょ
 薬名記入を

⑤ 心肺蘇生の手順

1 反応の確認
 ● 肩を叩いて大声で呼びかける

2 救急要請 119番
 ● AEDの手配
 ● 人を覚める

3 呼吸の確認
 ● 胸とお腹の動きを見る
 ● 10秒以内に判断

4 胸骨圧迫
 ● 胸の真ん中を両手で圧迫
 ● 強く(胸の深さの約1/3)
 ● 速く(1分あたり100回)必ず
 ● 絶え間なく(中断は最小限)

5 AED
 ● 2人以上で対応できれば実施
 ● 胸骨圧迫30回+人工呼吸2回
 ● 鼻をつまんで、下顎を上げ
 ● 約1秒で胸が上がる程度に吹き込む

● 準備中も胸骨圧迫をできる限り止めない
 ● 電源を入れて音声ガイドに従う
 ● 電極パッドを貼る(右上胸部、左下胸部)
 ● ショックの指示があったら、ショックボタンを押す
 ● 直ちに胸骨圧迫を再開

慌てると頭の中
 が真っ白にな
 ります。アナ
 フィラキシー
 を起こす予
 定がなくても
 書くように
 伝えましょ

このマニュアルは東京都および名古屋市発行の食物アレルギー緊急時対応マニュアルを参考に作成しました